

特別支援



中学部・高等部棟の改修工事も終わり、全ての校舎が新しくリニューアルされました。季節行事に向けた学習や地域の学校の仲間との交流、校外での行事など各学部の日々の様子をお伝えします。

小学部 わくわく集会



小学部では、毎月「わくわく集会（学部集会）」で、月予定の確認や誕生日のお友達のお祝い、季節行事に取り組んでいます。7月のわくわく集会是『七夕』です。そして今年からは、季節行事に向けて自分達で準備することにも挑戦しています。七夕飾りを作るチーム、笹を貰うために手紙を書くチーム、七夕の紙芝居を作るチームの3つに分かれ、みんなで協力して準備をしました。準備したい内容を自分で選んでいるため、どの児童もとても意欲的です。集会当日は、元気に願い事を発表したり、きれいに飾りつけた笹を見て満足そうな表情を浮かべたりするなど、大成功のわくわく集会でした。



中学部 北東中との交流



中学部では、毎年、甲府市立北東中学校の特別支援学級（ふたば学級）との学校間交流を行っています。今年度は、6月9日（月）に北東中の友達を本校に迎えて、楽しいひとときを過ごしました。まず、中学部3年生が自己紹介の、「フラフープ渡し」と「ボール運び」のゲームで親睦を深めました。続いて、中学部全体で、パラリンピックの競技でもある「ボッチャ」に挑戦し、協力し合いながらプレーを楽しみました。協働的なかわりを通して、相手を思いやる気持ちやコミュニケーションの大切さを学ぶことができ、実りある交流となりました。



高等部 校外行事



高等部生21名は入学進級してから、様々な校外行事に取り組んでいます。3年生は修学旅行で東京・千葉方面へ行き、仲間と協力しながら文化や歴史、産業の違いなどを学習してきました。2年生は校外宿泊学習で富士河口湖方面へ行き、集団や社会生活に必要なルールやマナーを学びました。また、1年生を含めた全学年で職場見学へ行き、働くことや将来の進路について考える機会を得ました。体験的な活動を通して、たくさんの社会経験を積んでいます。



5月末に保護者の方々にもご協力いただき、児童生徒の引き取り訓練を行いました。子どもたちは先生の指示をよく聞き、落ち着いて避難できました。保護者の方がお迎えに来るまでの時間、体育館で子どもたちと先生方が穏やかに過ごす様子は、微笑ましく思いました。緊張感を伴う訓練でありながら、子どもたちの安心した様子や教師への信頼が感じられ、心あたまる時間でした。今後も、地域の方々とも協力しながら防災意識を高めるとともに、子どもたちが安心できる学校づくりを大切にしていきたいです。校長 田中 武夫

きりの華25

Kiri-no-ka

第13号
2025年7月発行

山梨大学教育学部附属
幼稚園・小学校
中学校・特別支援学校

昨年度から、附属小学校は入学生の1クラス児童数を5名減らし30名に、中学校は小学校の減員に合わせ6年間かけて1クラスを30名に、幼稚園は1クラスの園児数を2名減らし28名（年少クラスは14名2クラス）としています。これまでに一人一人を尊重した、きめの細かい教育活動を進めて参ります。

幼稚園

幼稚園では、子どもが様々な環境と出会い、自ら心を動かしながら豊かで多様な体験を通して育っていくことを大切にしています。遊びを通して様々なことを学び、日々成長している本園の子ども達の姿をご紹介します。

「大変！池の水がなくなった！」……………

6月にも関わらず猛暑が続き、年長保育室の前にある池の水が干上がってしまいました。数年前に園児が掘って作ったこの池には、ヤゴやタニシ、カエルなど色々な生き物が住み着き、子ども達の探究心をくすぐる大切な自然環境となっています。この一大事に年長さくらぐみの子ども達が一致団結！ジョウロやペットボトルを使ったり、これまでの遊びの経験を活かして樋をつなげたりしながら水を入れ、みんなの池は無事に復活！！大好きな生き物のことを考えて自ら行動する力や友達と力を合わせて物事に取り組もうとする協働性が育っている頼もしい姿がみられました。



「お世話しているの」……………

未就園児親子対象に開催している「いちごぐみ」は、園児が小さなお友達と出会う貴重な機会にもなっています。6月には、使っていた遊具を「いいよ！」と貸してあげる年中児の姿や、入園して2カ月の年少児が「お世話しているの」と小さい子と遊んであげる姿もみられました。多様な出会いを通して、子ども達は自分なりに関わり方を探っていきます。



それは一人一人の成長のきっかけにもつながっているようです。

平素より本園の教育活動にあたたかいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

このたび園舎の改修工事に伴い、9月より令和8年2月までの期間、附属中学校テニスコート東端に設置された仮設園舎にて保育を行います。工事期間中、近隣の皆様にはご不便・ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、何卒ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

園長 磯部美和

令和8年度 園児募集説明会のお知らせ

園舎の改修工事に伴い、令和8年度新入園児対象の園児募集説明会は、**山梨大学大村記念ホール**において **8月23日(土)**に開催します。

詳しくは、本園のホームページをご覧ください。



小学校



初等教育公開研究会 ともに学び、 自ら越えていく子供 —子供の「学び方」に注目した授業を通して—

1年次

本校は、山梨大学教育学部の附属学校として、長年にわたり、大学との密接な連携のもとに子供を中心に据えた教育研究を行っています。

6月21日（土）には、今年度の成果と本校の子供たちの学びの姿を県内外の先生方にご覧いただく機会として、初等教育公開研究会を実施しました。1年生から6年生まで、各教科・領域における14の授業を公開し、その後の研究討議では実際の「子供の姿」を通じた活発な議論が交わされました。

参加された先生方からは、子供たちの発達段階に応じた自律的な学びの姿について、多くのお褒めの言葉をいただきました。



小学校は、今年度開校以来150年の節目の年を迎えます。正門横には、児童のデザインによる横断幕を掲出しています。

5月21日（水）には、全校児童で校章「あおぎりの葉」をかたどった人文字をつくり、航空写真を撮影しました。

また、11月には全校児童・関係者の参加による記念式典を執り行う予定です。

ICT 活用実践事例集

附属四校園では、一人一台端末の整備を機に授業や教育活動の中で ICT を活用した実践事例集を作成しました。ぜひご覧ください。



<https://www.yamanashi.info/huzoku>

本校は今年度、150周年という節目の年を迎えることができました。これまで「研究実証学校」としての役割を果たし続けてこられたのも、ひとえに皆様の温かいご指導とご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

公開研究会当日には、予想を上回る多くの皆様にご参加いただきました。皆様より頂戴しました貴重なご意見・ご助言を、今後の教育活動に活かしてまいりたいと存じます。

校長 神山 久美



中学校

悠か彼方へと繋がる友との絆（3 学年）

1 日目の法隆寺は雨でした。大雨の中でも、ガイドさんやお寺の方の話にメモを取り、奈良公園班別見学も予定通りに行いました。2 日目の班別タクシー見学、数々の世界遺産を前に感動の連続、京都の地で見る生徒たちは少し大人に見えました。夜には能楽体験、`本物、の凄みと、歴史を感じる舞台は私たちの心に深く刻まれました。3 日目のクラス別見学、クラスの仲間と過ごせる最後の時間を満喫しました。離れていく京都を惜しみながら詠んだ「そうだ京都行こう」。生涯忘れることのない思い出にはいつも仲間がいました。数々の学びと仲間と過ごしたかけがえのない時間を忘れないように、SELF のまとめに繋げていきたいと思います。素晴らしい3 日間をありがとうございました。



富士で学び、富士から学んだ2 日間（2 学年）

「RED Climb～勇往邁進～」のテーマのもと、一泊二日の宿泊学習を行いました。SELF の授業でグループごとに立てた「大きな問い」の仮説を検証すべく、静岡、山梨両県の富士山世界遺産センター、ふじさんミュージアムでの見学を中心に、熱心に探究する姿が印象的でした。また、富士山御中道トレッキングや御師の家「菊谷坊」での体験は、まさに「本物に触れる旅」そのものでした。

青少年交流の家での夜のつどいには、ドラマがありました。本気と本気がぶつかる中で披露されたスタンツ「オリジナル集団行動」。各クラスの団結の力は、見る人全員に感動を与えました。富士の頂を一步一步目指すように、学年目標「RED PRIDE 2nd STAGE」を全力で邁進したいと思います。



甲府の魅力、再発見！（1 学年）

「ENJOY～初めての行事に全力で取り組み、最高の思い出にしよう～」のスローガンのもと行われた校外学習。甲府の魅力再発見すべく、「歴史」、「文化」、「産業」の3つのコースに分かれて、甲府市内を巡りました。見学地では、「本に書いてあったとおりだ！」「実際に来てみると分かること、感じられることがある！」などの声が上がっていました。また、学校を離れて自分たちだけで行動する中で、仲間の新しい一面を発見し、絆を深めることができました。

若桐のつどいを通して得たたくさんの学びを、これからの学習や生活に結びつけ、深化させてほしいと思います。



若桐のつどいの目的のひとつは、SELF で探究している「本物」と出会い、学びを深めることです。総合的な学習の時間に自ら問いを立て、興味・関心あるテーマを追究してきた生徒たちは、京都・奈良、富士山、甲府市周辺に実際に足を運び「本物」と触れ合いました。仲間と共有した感動体験はこれからの中学校生活の糧となることでしょう。

校長 早川 健